

TASHIRO

NEWS LETTER 100

発行 田代稚恵美ピアノ教室

みなさま、寒さ厳しき毎日ですが、如何お過ごしでしょうか？お年賀状を有難うございました。

さて、みなさま、Newsletter 100号です。みなさまに読んで頂いて、支えられて、ここまで来ることができました。

newsletter を発行するきっかけとなった出来事が2つあります。もう20年近く前になりますが、その当時、教室に来ていたY.Oちゃんはその時は年長さんくらいだったでしょうか。オルガンピアノの本の『おやすみなさい』だったと思いますが、私が英語で歌いましたら、私の顔をしばしばと見つめて「ねえ、先生、前は外人だったの？」「!(◎_◎;)」(その子は慶應の法科から東大大学院に進み、法蔵会に入っています。)

もう一つは、小学校に入学したばかりのS.Nちゃん。とても小さな可愛らしい子でした。新川小学校は集団登校と聞いていたので「ねえ、Sちゃん、何人くらい一緒に学校に行ってるの？」と尋ねました。そうしたら、「あのね、Sはね、下を向いて一生懸命に歩いているのよ。何人いるか知らないよ。」(その子は歯科技工士として活躍しているようです。)

子供たちの言葉が本当にあどけなく、可愛らしく、思わず抱きしめてしまったことでした。

お母様方はお仕事もあってお忙しいから、そんな子供たちの可愛らしい姿を知ってらっしゃるかな、、、そう思ったこと、そして、在籍生徒が少しずつ増えて、教室での出来事をお母様方に話してお伝えするのも限界があると感じたこと、それがNewsletter発行へとつながりました。

前のご父兄が入会してから退会するまでの全てのNewsletterをファイルに取ってあります、とか、うちにはNewsletter一桁号があります、とお声を下さいます。まだまだ拙いNewsletterをそうして読んで下さった方々がいらしたと、そして、現在、隅々まで読んでくださるお母様方や子供達がいって下さること、本当に有り難く感じております。150号を目指して、また、頑張ります！

NEWSLETTER100号発行おめでとうございます🎉

毎回、大変興味深く拝見しております。

特に99号では、アンサンブルの時の写真が載っていてあの楽しかった時間を思い出し来年は、もっともっと頑張らなきゃと改めて思いました。

そしてお教室に通う方達の成長ぶりを感じ自らの励みにさせて頂いております。

文章や構成を考えるのは、お忙しい中大変なのではないかと思いますがNEWSLETTERを読む事を家族で楽しみにしていますのでこれからもよろしくお祈り致しますm(_)_m

寺田煌ちゃんママ

newsletter100号おめでとうございます。子どもの頃に習っていたピアノを、昨年、再開しました。レッスンの度に、田代先生からは「こういう音がいい音なんだ！」「こう弾くと聴いている人も心地いいんだ！」という発見をたくさんさせていただいています。ピアノは1人で取り組む時間が長い分、個人競技(?)というイメージでしたが、newsletterを読み、田代先生や、同じ教室に通っている皆さんの頑張る姿を見ると、私ももっと頑張ろうという気持ちになり、ピアノは1人で弾くものではなく、支えて下さる方や仲間がいるから弾けるものなんだと思うようになりました。毎号、とても楽しみにしています。これからもよろしくお祈りします。

小松菜津美

芦谷ゆふのNoda通信3



田代の姪、芦谷ゆふ

(マンハッタン音楽院大学院修了)の野田通信です。



ニューズレター100号、おめでとうございます！それぞれの号に田代先生始め、生徒さん方の歴史があることを思うと、ただただ敬服致します。

新しい年が明けました。昨年、私はNYの院を卒業し、日本で新たなスタートをして、お陰様で充実した一年を過ごすことが出来ました。

ところで、最近は科学技術が発達し、AI(人工知能)が新聞記事まで書ける時代になりました。「高度に発達した科学は魔法と区別が出来ない」と言いますが、技術の発展はわくわくする反面、人工知能が人間を超えるのか、と空恐ろしくもあります。便利になる一方で「手作りの物」、「アナログ」の良さを、近頃より一層感じるようになりました。大学時代にレッスンを受けたレオナルド・ゲルバー氏の「音楽は神からの授かり物」という言葉が、今ようやく自分の中に実感として浸透して来て、ピアノを弾ける有難さをひしひしと感じます。人の心が作る音楽、芸術が、もっと身近に存在するような世界になれば、と願っています。

新年度のレッスン時間変更をお申し出下さった方々の時間変更はようやく落ち着きました。。ご協力くださった方々にも感謝いたします

ステップ合格おめでとう！

発表会前のリハーサル代わりに、続々とステップに参加しております。アドバイザーの先生方のメッセージは発表会までにレッスンで生かして、最後の磨き上げをかけたいと思います！



発表会リハーサル

2月5日(日)

リハーサル時間厳守をお願いします。リハーサルでの注意が一目瞭然にわかるように、今の楽譜のコピーの上に新しい楽譜のコピーを上の部分だけ貼ってお持ちください。

発表会の花束について

今年も、発表会(2月18日)で花束をお子さまやお友だちに贈りたいという方のために注文を受け付けます。

- ・花束は1,000円から1,500円、2,000円・・・と500円刻みに受け付けます。リハーサルの時に申し込み用紙を置いておきますので「ピンク系」「イエロー系」「ブルー系」「オレンジ系」などご希望をお書き下さい。但し、ブルー系の場合、ブルーだけでは質感が落ちるので、ブルーを混ぜて、ということになるそうです。
- ・**申し込み締め切り 2月11日(土)**
- ・リハーサル会場で申込書に記入し、**次回レッスン時に代金をお持ち下さい。**
- ・レッスンノート、メールなどで、田代までお申し込みの場合は、**代金を添えて下さい。**

編集後記

中学生になるのを機に退会する子のお母様からのお手紙をご紹介します。

田代先生、年賀状ありがとうございました。枠を超えて書いて下さったコメントに胸打たれました。先生の想いにグッと込み上げてくるものがありました。美結も年賀状を手にしたましましばらくじっと動かず、先生の言葉を噛み締めている様に見えました。

東日本大震災の半年前に始めたピアノも、6年半になりました。私としては“まだ6年半、”という思いもありますが、本人も色々と考えたようでした。

素直になれない自分、周りに比べて不器用な自分、中学に行って益々忙しくなる中で時間の使い方がめんどくさい自分・・・。

ポツポツそんな事を話し出しました。子どもだと思っていたけれど、自分のことも色々“気づき、考えるようになっていました。

美結は田代先生に出会え、他では学べない経験をさせていただき幸せ者です。何より深い愛情を持って指導していただき、順調に育っている、その美結の成長は先生なくして語れません。

そして、私自身も育てていただきました。子育てとは何か？親の心構え、姿勢・・・先生のお考えに触れる度に、目から鱗だったり、何かを学んだり、6年前の私は何てお子様だったのか、と恥ずかしくなります。少しは親らしくなれたかな・・・と思います。(続→)

市川ステップ 1/21

鈴木日向子 (フリー3)	大村 響 (フリー3)	有永 音羽 (フリー5)
北川 愛梨 (フリー5)	大村 葉 (フリー5)	神保和花乃 (フリー5)
服部 葵 (フリー5)	寺田 煌 (フリー7)	石井 美有 (フリー15)

八千代米本ステップ 1/22

沼田 若菜 (フリー3)	齋木 桜子 (フリー5)	沼田 遥菜 (フリー5)
秋葉 れい (フリー5)	松永 啓佑 (フリー7)	松永 偲歩 (フリー7)

ピティナピアノコンペティション説明会

ピティナピアノコンペティションの課題曲が3月はじめに発表されます。毎年、うちの教室では、参加にあたっての説明会を開いています。練習をはじめてから予選、本選、全国決勝大会と進むまでの計画の立て方、心構えなどしっかりとお話しをさせて頂いてからスタートを切っております。

一旦目標を立ててから、こんな筈ではなかったと途中でリタイアをしてしまうことは子ども達に傷を残してしまうこととなりますので、まずは説明会にご参加下さい。

3月3日(金) AM10:00から初参加の方、10:45から経験者の方、教室にいらして下さい。安心して船出するための説明会です。また、説明会にいらしたから、絶対参加しないといけないというものではありません。お待ちしております。

成人式

成人式を迎えた現役生徒の古里彩乃ちゃん(写真左)、かつての生徒の濱垣奏子ちゃん(右)が教室に晴れ姿を見せにやって下さいました。教室では、他に三輪駿介くんも成人式でした。おめでとう！！



安倍美穂先生レッスン



発表会で安倍美穂先生作曲の曲を弾く鈴木日向子(小1)、増田結(小2)ちゃんが安倍先生にレッスンをして頂きました。作曲家から直接イメージを聞き、勉強になることも多かったとのことでした。

(続) 今は、美結は中学で頑張りたいたい事があるようです。小学校の間、ピアノを中心にメリハリをつけた生活をしてきた、そう導いて下さったからこそ、中学でも頑張りたいたいものを見つけられる子に育ったのだと感じています。

田代雅恵美ピアノスタジオは、先生、生徒さんとその保護者の方々も素敵な人ばかり。そんな田代ファミリーから卒業してしまうのはとても寂しく、特に私はピアノロスになる事が今から心配です。逆に考えれば、そう思える経験や思い出を作れたことは財産であると思っています。(中略)先生、これからもお元気で、たくさんの子供さんとその親御さんに私たちの様な経験を是非させてあげて下さい。

中村英子